

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日本10-12月期GDP1次速報値)

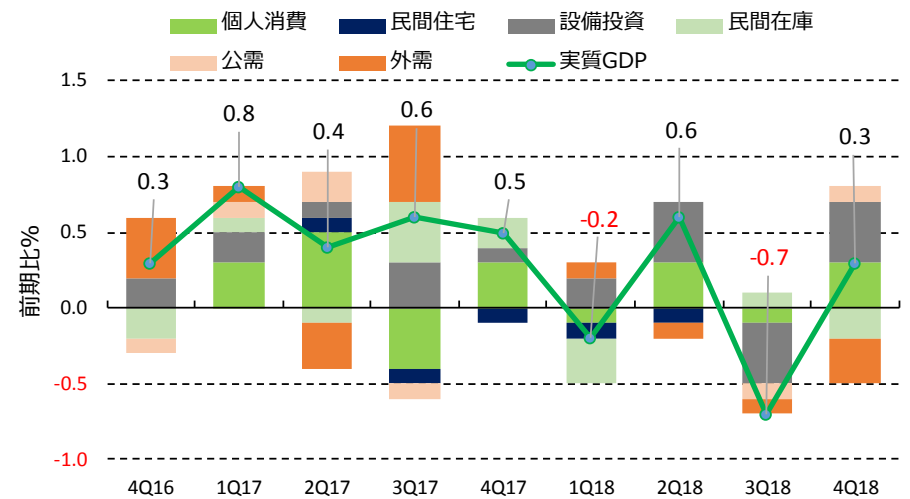
2019/2/14

りそなホールディングス 市場企画部

概況

- ◆ 10-12月期GDPは前期比+0.3%と2四半期ぶりのプラス成長
 - ◆ 7-9月期の自然災害要因が解消され、内需がプラス寄与
 - ◆ GDPデフレーターは前年同期比▲0.3% (7-9月期▲0.4%)
- ✓ 2月14日内閣府発表の2018年10-12月期実質GDP1次速報値は、前期比+0.3% (年率+1.4%) と市場予想 (前期比+0.4%、年率+1.4%) と概ね一致、2四半期ぶりのプラス成長となった。個人消費は前期比+0.6%、設備投資は同+2.4%と内需がプラス寄与。他方、輸出が前期比+0.9%と増加した一方、輸入が前期比+2.7%と増加し、外需はマイナスに寄与した(右図)。GDPデフレーターは前年同期比▲0.3%となった。
 - ✓ 個人消費は7-9月期の地震、豪雨、台風等の自然災害や生鮮野菜の価格高騰の影響が解消され、前期比+0.6% (寄与度+0.3%ポイント：以下%pt、7-9月期▲0.2%) と2四半期ぶりにプラス。耐久財消費が+3.3% (7-9月期+0.5%)、サービス消費は+1.0% (7-9月期▲0.8%)。
 - ✓ 民間住宅は前期比+1.1%と2四半期連続のプラス (寄与度+0.0%pt、7-9月期+0.5%)。
 - ✓ 設備投資は前期の落ち込みの反動から前期比+2.4% (寄与度+0.4%pt、7-9月期▲2.7%)。
 - ✓ 公的需要は前期比+0.4% (寄与度+0.1%pt、7-9月期▲0.3%)。政府消費が+0.8% (寄与度+0.2%pt)、公共投資が▲1.2% (寄与度▲0.1pt)。
 - ✓ 外需 (輸出-輸入=純輸出) の寄与度は▲0.3%ptと3四半期連続のマイナス。輸出が前期比+0.9% (7-9月期▲1.4%) とプラスに転換したものの、輸入が+2.7% (7-9月期▲0.7%) と輸出以上に伸びたため、外需の寄与度はマイナスとなった。
 - ✓ GDPデフレーターは前年同期比▲0.3% (7-9月期▲0.4%)。国内需要デフレーターは同+0.6%の一方で、輸入デフレーターが上昇しGDPデフレーターを下げた。

【実質GDP成長率 需要項目別 (前期比)】



前期比 寄与度%pt	2017		2018		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
実質GDP	0.5	-0.2	0.6	-0.7	0.3
民需	0.5	-0.3	0.7	-0.5	0.5
個人消費	0.3	-0.1	0.3	-0.1	0.3
民間住宅	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0
設備投資	0.1	0.2	0.4	-0.4	0.4
民間在庫	0.2	-0.3	0.0	0.1	-0.2
公需	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1
政府消費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
公共投資	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.1
公的在庫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外需	0.0	0.1	-0.1	-0.1	-0.3
輸出	0.4	0.1	0.1	-0.3	0.2
輸入	-0.3	0.0	-0.2	0.1	-0.5

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。